

はとのさと保育園クラスたより

1月

ひよこ組(0歳)

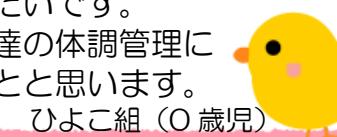
長いお正月休みも終わり、久しぶりに子ども達の元気な声と笑い声であふれているひよこ組です。

12月は備後の宮によく散歩に行きました。砂利道や落ち葉の上を歩いたり、ハイハイをして落ち葉や小枝など自然物に触れたりと身体を動かしながらたくさん散策をして色々なものを発見する子ども達でした。また、クリスマス会もありました。クリスマスの歌を歌ったり絵本を見たりとクリスマスにも興味津々な子どもたち。高月齢の子どもたちはシール貼り、低月齢の子どもたちはタンポでスタンプをしてクリスマツリー作りもしました。初めは少し様子を見ながらも保育者と一緒にじっくりと取り組むことでシールを剥がして上手に貼ることができ嬉しそうな子どもたち。タンポでは手や顔に絵の具をつけながらも色がつくことを楽しみながらスタンプする姿がみられていました。

1月はお正月ならではの遊びを取り入れ、わらべうたあそびや歌、絵本もたくさん読んでいきたいです。

まだまだ寒い日が続きますが子ども達の体調管理に気をつけて元気に過ごしていきたいと思います。

ひよこ組(0歳児)



りす組(1歳)

12月は秋にたくさん拾って遊んだんぐりを使ってマラカスを作り、シャカシャカ鳴らしながらクリスマスのお歌を歌ったり、リースやツリーの製作をしたりしてクリスマスを楽しみに過ごしました。また、寒さに負けず戸外でたくさん体を動かして遊びました。お友達同士でかくれんぼやまてまて遊びをする姿も出てきて「もーいいかい」「まーだだよ」とやりとりをしながらも、まだまだ探して見つけてもらうのを待ちきれずに「ばあー！」と出てきてしまう子ども達。お友達とニコニコ一緒に遊ぶ姿に成長を感じます。

1月はお正月休み明けで生活リズムや気持ちが崩れることもあると思うので、安心して過ごせるようにしっかり気持ちを受け止め、ゆったりと関わっていきたいと思います。お正月遊びや絵馬の製作などもしながら、日本の伝統行事も楽しみたいと思っています。

また、対立遊びが大好きな子どもたちなので、みんなで共通のイメージの中で遊ぶことや、見立てつもり遊びなども楽しみながら、お友だちや保育者とのやり取りや、何かになつたつもりで遊ぶことを楽しんでいきます。

りす組(1歳児)

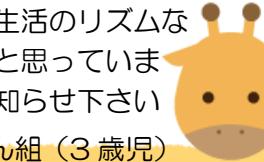


きりん組(3歳)

12月はクリスマスに向けて、少しずつ園内にもぎやかになると共に、子ども達もはさみやのりを使って、制作を楽しみ、少しずつ出来上がっていく制作に、友達との会話も弾んでいました。また中旬には、インフルエンザが流行り、「～ちゃんはきてるのかな」と友達を心配する声もきこえていました。友達との再会に、嬉しそうにしていましたよ。クリスマス、お餅つきと楽しみな行事がたくさんあり、子ども達の笑顔いっぱいになっていました。部屋では絵本を読んで、出てくる登場人物になって、ごっこ遊びをしています。ある時は「がお～」とおおかみになってみたり、腰を曲げておばあさんになって歩いてみたりと、思い思いに役になって見ようとしています。その様子を見て、「～になってる」と役を当ててみたり、「ちがうで～」と主張してみたり、イメージを少しずつり合わせています。どんなお話で、ごっこ遊びをするのか、毎日楽しみにしています。1月はお話に出てくる役のイメージを膨らませながら、ごっこ遊びを楽しんでいこうと思っています。普段のまごとや保育園ごっこなど、なりきって遊んでいる子ども達の言葉のやりとりもどんどん増えてくること思います。

長期休み明けの登園になりますが、体調面や生活のリズムなど、子ども達の無理のないようにしていきたいと思っています。なにか気になることがあれば、担任までお知らせ下さい。

きりん組(3歳児)



ぞう組(4歳)

あっという間に一年が過ぎ、また新しい一年が始まりました。12月のぞう組は戸外に沢山出て遊びました。ぞう組の今一番のブームは、「中当て」です。中当てとは、まず地面に円をかき、丸の外側と内側に分かれます。外の子が中の子をボールで当て、当てた子と当たった子が外と内を交代していくゲームです。ぞう組では、みんながルールを理解し楽しく遊べるように、レベルを3段階に分け遊んできました。レベル1は保育者が外(当てる側)、子ども達は中。ボールを当てられた子は応援にまわり、最後まで中に残った子が勝ち。レベル2は、当てられたら、外の当てる側に加わり、どんどん外が増えていきます。レベル3は本来の中当てです。「あ～当たってもたー」「最後まで一回も当たらんかったで！」など友だちと一緒に汗をかくほど毎日遊びました。又、クリスマス製作も楽しみました。散歩先から持ち帰った落ち葉やどんぐりを使ってクリスマツリーやリースを作りました。自分たちの作ったもので保育室を飾り、クリスマスムードを楽しみました。1月は、お正月やどんどなど日本の伝統文化に触れる行事があります。知識と体験が結びついていくような時間にしています。引き続き、寒さに負けず戸外で体を動かして遊び、体の中から温かくなる経験も重ねていきます。又、2月には生活発表会があります。自分ではないものになって遊ぶ体験は子ども達にとって楽しいものです。みんなで絵本の世界に入りイメージを共有しながら遊んでいきます。

ぞう組(4歳児)



ほし組(5歳)

12月は、インフルエンザが大流行し、ほし組が全員揃うことがなかなかありませんでした。しかし、そんな中でも「なんでみんなお休みなのかな?」「なんで病気になっちゃったのかな?」と色々考えることが出来ました。「もっと丁寧に手洗いうがいをせなかんかったかも。」と自分たちの生活を見つめなおす期間にもなりました。うがいの仕方も、みんなで「何秒、何回したらいい菌いなくなるかな?」と考えて、「10秒ぐらいしたらいいかも。じゃあ5秒を2回にしよう」と決めました。お家でも実践してもらえたと思います。又、制作活動では、クリスマス製作のキャンドル作り、リース作りをお休みしていた友達に教える姿があり、子どもたち自身で助け合う姿も見られました。

1月は、鬼追い式・どんどと行事があります。クリスマス会にサンタを招待しよう！とんどに地域の方を招待しよう！と招待状作りもしました。「保育園に来てください。だけじゃ、いつ来たらいいかわからんやん。」「じゃあ、何日かと時間も入れな！」といつ・どこで・誰がを入れないと伝わらないという事にも気付けました。

保育園での生活も残り3か月となりました。1日1日が子ども達の楽しかった！面白かった！といい思い出になるといいなと思います。

ほし組(5歳児)

